

(別紙4(2))

事業所名: グループホーム胡桃(くるみ)

目標達成計画

作成日: 平成 31年 3月 19日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	意思表示が困難な入居者に対して、思い、意向の把握、コミュニケーションの取り方を、改めて職員間で振り返るようにする。	各入居者に対してユマニチュードケアを用いて、入居者の思い、意向に寄り添ったケアを行う。	意思表示が困難な入居者に対し、ユマニチュードの見る、話す、触れる、立つの4つを意識したケアに努める。動作時にはオートフィードバックを取り入れながら介助を行ってみる。	6ヶ月
2	35	防災訓練、避難訓練は定期的に消防署立会いの下実施していたが、消防署からの指摘事項やアドバイス、職員間で気付いた点や次回に繋がる改善点を明確に記録を残していなかった。	訓練時の指摘事項等の記録をつけ、訓練の向上を図る。	訓練時の指摘事項やアドバイス、職員間で気付いた点や次回に繋げる改善点を必ず記録をつけるようにする。また、次回の訓練前に確認し、訓練の向上に努める。	3ヶ月
3	54	家族や来訪者の面会時に、居室によっては日中使用していないポータブルトイレをそのまま設置しており、居心地の良い空間としては不十分な状態だった。	各入居者の居室を居心地の良い空間となるよう、見直しを行う。	夜間のみ使用するものは日中はカバー等目隠しをする。木製のポータブルトイレにはクッション等を置き、インテリアとして違和感のないように努める。入居者の使い勝手や動線の障害物とならないよう配置についても定期的に見直すようにする。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。